学　び　舎（まなびや）

～清和台南小学校　学校通信　第7号～

平成28年10月4日

感動を…ありがとう　～第40回運動会～

９月24日（土）、前日までの空模様から一転したさわやかな天候の下、本校第40回の運動会が開催されました。今年は雨の降る日が多く、練習日程は例年以上に厳しいものとなりました。そんな中でも、児童一人一人はそれぞれ一生懸命努力し、互いに協力しながら練習に取り組んできました。先生方も空模様を気にしつつ、子どもたちの状況を見ながら練習の予定や内容を考える毎日でした。そうした苦労があったからこそ、当日の演技・競技は一人一人の頑張りが見ている人たちにも伝わってくる迫力でした。

表現演技のトップバッターを飾ったのが、３・４年生の「和・144の輪」でした。黒に赤の縁取りが鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちは、入場から退場までそれこそ全力での演技でした。個々の力強いダンスはもちろんですが、さまざまに変化する隊形も切れ味よくスムーズに移動できていました。

3･4年生「和･144の輪」

1･2年生「111にんじゃ」

１・２年生の「111にんじゃ」は低学年らしい楽しい演技でした。曲に合わせてのノリノリのダンスは、何よりも踊っている子どもたち自身が踊ることの楽しさを感じていて、見ている人にもその楽しさが伝わってくるものでした。一人で踊るだけでなく、友達と協力しながらの演技は、きっとこれからの子どもたちの成長に繋がっていくものだと思います。

そして午前の部の最後を飾ったのが、５・６年生の「花になれ！Bright Future（ブライト　フューチャー）」です。高学年らしい力強いきびきびとした演技はやはり迫力満点のものでした。演技それぞれの完成度だけではなく、みんなで声を出して合わせた演技など、集団の持つ美しさも見事に表現されていました。

5･6年生「花になれ！Bright　Future」

演技後半のダンスや集団パフォーマンスは全員の息がぴったり合って、観客席からも拍手が起こりました。

各学年の表現演技だけでなくその他の競技も、子どもたちが全力で取り組む様子が肌で感じられ見ている人を感動させる運動会でした。

成果をふだんの生活に

特に今回の運動会で強く感じたのは、子どもたち自身による運営です。もちろん多くの場面では教職員が中心となって実行していますが、それでも開閉会式の進行や応援団によるパフォーマンスなど随所に子どもたち自身の活躍が直接見られる場面がありました。特に応援団は、午後の応援合戦だけでなく、各競技においても動きをそろえて大きな声で応援している姿に感動しました。

白組　応援団

赤組　応援団

高学年のそういった活躍を低学年の児童もあこがれの目で見て、その素晴らしさをしっかり心に焼きつけてくれたことと思います。子どもたちの自治の力の育成がこの清和台南小を発展させる柱の一つだと考えています。これからもさまざまな場面で、子どもたちのアイデアや実践などを取り上げていきたいと思います。

そして、保護者・地域の皆様、子どもたちへの温かい応援、本当にありがとうございました。運動会当日はもちろんのこと、子どもたちが今日までの取り組みで感じた、喜びや悔しさなどが彼らを大きく成長させる糧になっただろうと思います。

また、今年度もコミュニティの皆様にテントを設営していただきました。特に今年度は保護者席にもできるだけテントを張ろうと、清和台中学校にテントをお借りし、また、設営にも、バレー部の生徒が手伝いに来てくれました。そして、PTAの方々、今年は特にお世話になりました。

この運動会を通して、子どもたちはみんなと協力しながらコツコツ努力することの大切さを学びました。そして全力を出して取り組むことの喜びを学びました。

11月には音楽会が開かれます。次はその音楽会に向けてみんなと協力し、コツコツ努力していってほしいと思います。でもその前に、行事と同じように、毎日の学校生活で、みんなと協力し、コツコツ努力することを忘れてはいけません。ふだんの学校生活でも、そのことを忘れず落ち着いて学習に取り組んでください。

歴史と伝統を受け継いで

～創立記念日～

10月9日（日）は川西市立清和台南小学校の40回目の創立記念日です。本校は昭和52年4月1日に開校、当時の児童数は597名、教職員は初代箕浦博次校長以下28名だったそうです。

この10月9日はその年度に開校披露式が挙行された日で、以降、この日を創立記念日としています。以来40年、本校の卒業生は平成27年度までに4,200人を超えています。みなさんも本校の児童として、その歴史と伝統を守り、発展させていく気概を持ってほしいと思います。